

4/14(火)からの臨時休業について

先週やっと学校が再開され、縮小版ながら、「始業式」「入学式」「新入生を迎える会」を行うことができました。49名の生徒が生き生きと活動し始め、学校に活気が戻ったのも束の間、本日通達があり、蔵王町の小・中学校は明日からまた、臨時休業に入ることとなってしまいました。コロナウィルスの感染は未だ拡大傾向にあり、宮城県も危機的状況下にあることを考えると、この措置は当然のこととは思いますが、6時間目に校長から臨時休業について話されると、子ども達は一様に不安げな表情を見せていました。

= 4/13「校長の話」より



学校再開となった4月8日(水)朝7時半頃,私は校長室 の窓から,蕾が膨らんできた校門脇の桜やテニスコートを眺 めていました。

すると、ある小柄な女子生徒が大きな背負いカバンを左右 に揺らしながら,笑顔ですごいスピードで校舎に向かって走ってきました。ニコニコして走ってくるその姿を見て,実は

私は校長室の中で涙を流してしまいました。その子の揺れる背負いカバンの中に「学校再開の喜び・前 を向ける嬉しさ・友達への愛・自分の夢」などが詰まってい るようにも見えたのです。

3月2日からの長きに渡った臨時休業期間と春休みをを経て、「やっと学校再開だ!頑張ろう!」と、一人一人が思いを抱いてスタートを切ったばかりの今、またたいへん残念なお知らせを皆さんに伝えなければなりません。 宮城県も新型コロナウイルス感染症にかかる人が多くなってきました。この蔵王町の町内に今のところ陽性反応者 はいませんが、ここ数日で前以上に危険な状況となりました。

本日の午前,宮城県の村井知事が記者会見を行いました。 「宮城県内,学校を再開している町や市と,仙台市など3月からずっと臨時休校措置が続いている市や町があるが, 明日の14日から宮城県内統一で県内全ての小中学校をゴールデンウイーク明けの5月6日まで休校措置を要請します。」と発表がありました。その事を受け、<u>蔵王町の小中学校は再び明日から臨時休校</u>となることが決まりました。

皆さんは学校生活をしていたほうが「勉強ができる」「友達と一緒にいれる」「部活動がある」「前を向ける」「心が

皆さんは字校生活をしていたはうが「勉強ができる」「友達と一緒にいれる」「部活動がある」「前を向ける」「心が嬉しい」・・・という思いを持っていることは痛いほど感じています。
しかし、この状況で今、何よりも最優先をさせなければならないのは「皆さん一人一人の命」「安全」です。「命があってこそ」です。東京の若者などもタレントの「志村けん」さんのコロナウイルスによる死を知ってから、やっと人ごとではないと思うようになったそうです。いまは本当に我慢の時です。
実は人類の歴史、地球の歴史では、何度かこのような困難に直面し、人類はそのたびに力を合わせて乗り切ってきました。はるか昔の14世紀に「ペスト」という恐ろしい感染症が世界中に大流行して、全世界で人々が家にこもった時「ニュートンは万有引力を発見したり、(校長先生が保健室前に設置しているような)プリズムの分光の実験」をしたりと、色々な発見や発明、文学の名作などが生まれたそうです。

みなさんは再び家にいる日々となりますが、今、お話をしたように、一人一人が後ろ向きではなく、前向きになれることをなんとか探しながら、この新型コロナウイルス感染症終息後に、遠刈田中生みんなでこの場所で学校生活を 謳歌しましょう。みんなでこの時期を耐えましょう。 | 学年別に登校日をこの後何回かもうけます。臨時休校期間が終わる時まで、くれぐれもコロナに罹患しないように

過ごして下さい。先生方みんなで祈っています。

帰りの会では、明日からの休業に向けて「生活記録表」「各教科からの課題一覧」「町教委から の文書」「遠中だより」等が配布されました。ご家庭でも確認していただき、お子さま方がご家庭 においても、感染防止に努めながらも規律ある生活を送ることができるようお声掛けください。

<u>「マチコミ」で行います</u>。こちらで登録者の確認ができますので,配信が確認で き<mark>ないご家庭にはお電話をさし上げるよ</mark>うにいたします。また,遠刈田中学校の<mark>ホームページ</mark>に

も随時情報をアップいたしますので、時々チェックをお願いします。 保護者の皆様方には、多方面で様々なご苦労があることと存じます。 お子さまの生活について, 心配なこと等ございましたら、どうぞ遠慮されず学校まで連絡をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



4/9 第74回「入学式」ようこそ!遠中へ!

4月9日、フレッシュな14名の新1年生が入学式を迎えました。担任から名前を呼ばれると、全員が大きな声で「はい!」と返事しました。「これからの中学校生活頑張るぞ!」という前向きな気持ちが伝わってきて、2、3年生も、職員も、気持ちが引き締まるのを感じました。新入生代表の伊藤優月さんの「誓いの言葉」も内容がとても素晴らしく感動的でした。(学年だよりで紹介されています。)

「歓迎の言葉」(一部を抜粋) ----- 生徒会長 愛澤 詩和 -------

遠刈田中学校は、人数が少ないですが、明るく活気のある学校です。これから、充実した生活を送っていくために、自分の目標をしっかりと立てて、中学校生活を送っていきましょう。また、あいさつや言葉遣いなどにも気をつけ、全校生徒仲良く、一緒により良い学校をつくりあげていきましょう。

中学校生活は、みなさんが思っているよりも本当にあっという間です。自分の可能性を信じて、自分らしく輝けるよう、努力を惜しまず、何事にも前向きに挑戦してほしいと思います。新入生のみなさんの中学校生活が充実したものになるよう、私たちも頑張ります。

この「誓いの言葉」を14名の1年生は皆、真剣なまなざしで聞いていました。この素直でやる気のある1年生一人一人が、個性を輝かせて充実した学校生活を送り、三年後に「**遠中生でよかった」**と満足して卒業できるよう支援していきたいと思います。

↓一瞬マスクを外して記念撮影



【入学式 校長式辞より(抜粋)】

中学生になった新入生の皆さんは、この誇れる蔵王の自然、遠刈田の美しい風景を、かけがえのないふるさとの風景として、新たな気持ちでみつめながら3年間を送ってほしいと願います。

蔵王町の村上英人町長様はよくこうおっしゃいます。「この蔵王町で学ぶ子ども達が、お釜や樹氷をはじめとしたこの町の素晴らしい風景,誇れる景色を実際に目で見て,肌で実体験しないまま,この町を離れ,ふるさとを語れない人間にはなってほしくないのです。素晴らしい風景をしっかりと目に焼き付け,心の中に宝物として我がふるさとの風景を納め、その上でこの町から、大きな世界に羽ばたいてほしいのです。」と。

中学生として日々成長していく「心」と「目」でこの蔵王・遠刈田の風景とかかわりながら学ぶ日々こそが,みなさんの心の中に,ほかの土地では得ることができない素敵な感性が養われ、中学生活の財産として刻まれていくのだと信じています。

保護者の皆様に申し上げます。お子様のご入学、誠におめでとうございます。

大切な宝物であるお子様を確かにお預かりさせていただきます。中学時代は心と体の変化が激しい時であり、逞しく、そして、頼もしく成長する時でもあります。新型コロナウイルス感染症により、長かったお子様の自宅学習の日々、しっかりと寄り添って頂いていたからこそ、新入生諸君の凜とした態度や決意に満ちた今日の表情があるのだと感じます。大変な日々、本当にお疲れ様でございました。

これからも,家庭と学校,地域との連携を確かなものにしながら,この3年間,微力な私たちではございますが,全職員一丸となって一人一人の生徒が「学ぶ意欲にあふれ 心豊かで 健康でたくましく生きる」ことを目指して鍛え育んでまいります。ご支援の程,何とぞよろしくお願いいたします。



*「新入生を迎える会」の様子は,次号の「遠中だより」でお知らせします。ホームページ上でのお 知らせになるかと思いますので,時々確認をお願いします。